

令和4年

7月



弓取保育園



遊びのために大切な 健康チェック

子どもたちはプール遊びが大好きです。楽しく遊ぶためには、体調を整えておくことが大切です。朝ご家庭で、体温測定をして全身の健康チェック、そしてしっかり朝食を食べて、排便を済ませておくなどしておきましょう。



- 発熱はありませんか？
- 咳や鼻水は出ていませんか？
- 皮膚に発疹などはありますか？
- 目が赤くなっていたり、目やにが出たりしていませんか？
- 下痢や腹痛はありませんか？
- 十分な睡眠がとれていますか？
- 朝食は食べましたか？
- 排便は済ませましたか？
- 爪は短く切っていますか？

感染症対策

保育施設では、排泄が自立していない乳幼児には、個別のたらい等を用いての水遊びを行い、他の園児と水を共有しないよう配慮しています。



注意したい感染症

プールで感染する恐れのある感染症を知っておきましょう



咽頭結膜熱(プール熱)

おもな症状

39~40度台の高熱、扁桃腺炎、結膜炎です。

注意点

塩素消毒が不十分なプールの水を介して感染することもあります。それよりも主な感染経路は接触感染です。プール遊びの前には流水を用いたお尻の洗浄が大切です。登園の目安は、主な症状が消失した後2日を経過していることです。プールの利用はかかりつけ医に相談しましょう。

プール熱とはやり目は、アデノウイルス

流行性角結膜炎(はやり目)

おもな症状

目が充血し目やにが出ます。幼児の場合は、目に膜が張ることもあります。また、発熱を伴うこともあります。

注意点

塩素消毒が不十分なプールの水を介して感染することもあります。プールでのタオルの共有は厳禁です。登園の目安は結膜炎の症状が消失していることです。

伝染性軟属腫(水いぼ)

おもな症状

水いぼのウイルスによる感染で、1~5mmの小さなぶつぶつが、主に両手足や体幹にできます。軽いかゆみがあります。

注意点

皮膚と皮膚との接触感染です。患部を掻いた手で触るとウイルスが広がります。園生活では、水いぼを衣類、包帯、耐水性絆創膏などで覆いましょう。プールの水ではうつりませんが、肌と肌の触れあいやタオルや浮き輪、ビート板などからうつることがあるため、共有は避けましょう。

伝染性膿痂疹(とびひ)

おもな症状

虫さされや湿疹などを掻きむしったところに黄色ブドウ球菌が感染して水疱、びらん、かさぶたができます。

注意点

主な感染経路は接触感染です。この水疱を掻きむしった手でほかのところを掻くと、どんどん広がっていきます。浸出液が染み出ないようにガーゼ等で覆いましょう。プールは治るまでお休みしましょう。